

生命科学部 学生さんの TOEIC 学習体験談

分子生命化学科 4 年 F.T.さん

3 か月で 200 点アップ！英語は耳から。アプリを使って効率よく学習する。

3 年生の 11 月に 385 点だったのが翌年 2 月に 585 点にアップしたんですね。短期間にすごいですね！

農大の大学院を目指してたので、TOEIC のスコアを **600 点** にしないといけないと思いました。

学習のポイントを教えてください。

リスニングセクション（Part 1 から 4）もリーディングセクション（Part 5 から 6）も、**英語を理解するスピードをネイティブレベルにするのが大事だ**と思ったんです。

なるほど！それは認知科学のセオリー通りですね！具体的にはどんな訓練をしたんですか。

リスニングセクションもリーディングセクションも**聴いて書いて聴いて音読**しました。

音読は 4 技能（リスニング・リーディング・スピーキング・ライティング）の力を上げるのに効果的だと言われています。それに書き取りをプラスしたんですね！

【リスニング】

特に Part 2 では『問いかけ』が聴き取れないと正答できないなので、工夫しながら何回も聴いて書きました。

どんな工夫をしたんですか。

『問いかけ』を 5 つのパーツ（〔出だし〕（5W1H や助動詞）、〔動詞（時制）〕、〔主語〕、〔目的語〕、そして〔その他〕（4 つのパーツを説明する句や節））に分けて聴き取るようにしました。

聴き取りには手を使いました。右の図のようにそれぞれの指をそれぞれのパーツに見立てたんです。パーツごとに聴き取れたら該当する指をピョンと動かすんです（〔出だし〕が聴き取れたら親指をピョン）。こうすると頭の中で確認するよりも、視覚的にパーツが確認できるんですよ。〔出だし〕は応答を左右するので、特に注意しました。



聴き取れた後に音読もしました。この方法でリスニングが確実に得意になりました！

ご自分に合った方法を工夫されたのですね！

【リーディング】

リーディングセクションは、**ネイティブのスピードで音読**できるように訓練しました。それによって読解スピードが確実に上がったように思います。

具体的にどんな訓練をしたのですか。

Part 6 や Part 7 で間違った問題は、まず和訳を読んで内容を理解した後、英文を音読します。大体 10 回くらいかな。私はアプリを使ったのですが、Part 6 や Part 7 に付属の音声と一緒に発音しました。はじめは再生速度を遅くして 1 文ずつ音声を流し、発音しながら書きます。徐々に速度を上げ、最後はオリジナルの速度で音声と一緒に発音します。

最終的にネイティブの速度で発音する、しかも書くことにより、文型・文法にも気づきますね。

もう一つ発見がありました。単語を単体で発音するのではないので、文になった時の**音のつながり**がわかりました。What's up?がワッツアップ」になったり“First of all,”が「ファースト オヴ オール」ではなく「フェステヴァル」になったり・・・。

音のつながり方から、文中の区切りがわかり、文を意味のかたまりで聴きとることもできますね。

そうです！リスニングもリーディングにしても、**英語は耳から**ってことです！**真似**をしながら**音読**することによって、**リスニングとリーディングの処理能力をネイティブレベルにできる**と思います。

どうもありがとうございました！これからも頑張ってください。

【F.T.さんのモチベーション・アップの方法】

① アプリを使用した

使用したのは“abceed”。最初に実力を測定し、実力にあった教材で学習する（利用できる教材は「TOEIC 公式問題集」「金のフレーズ」など 400 冊以上）。

- ・ 学習した結果に基づいて現在のスコアを予測して表示。
- ・ 学習記録に基づいて、何時間学習したらどの程度スコアが上がるかを表示（目標に対して学習量が十分かどうかわかるので、不安が解消される）。

② 毎日全パートを学習した

- ・ パートごとに毎日何問解くか決めた⇒スキマ時間の利用につながった。

③ 目に見える形で学習記録を残した

- ・ 発音しながら文を書くときはノートを使った（「頑張った記録」を残した）。

④ かかった費用は全て自分で出した・・・費用対効果を求める欲求が強くなり学習につながる！